

高校生をもつ保護者の皆さまへ

地方の 立国の 魅力

～意外と知られていない9つの秘密～

2017年版

世界が注目!
個性的な研究!

丁寧な
個別就活サポート!

学生数
÷
教員数

勉強・研究に
集中できる!

自然が
近い!

学生が優秀!

生活費
が安い!

親元を
離れて
自立!

施設・設備
が充実!

まじめな学生が
多い!

学費が安い!



平成28年度学校基本調査によれば、**全国の大学進学率は49.2%**で、
高校卒業者の約半数が大学へ進学している状況です。

全国に大学は全部で約780大学、うち国立大学は82大学です。

つまり、「**約10大学に1大学が国立大学**」という割合です。

また、毎年、大学に入学する新入生総数は約60万人、うち国立大学への入学者は約10万人なので、「**約6人に1人が国立大学生**」という割合です。

旧帝国大学（東大・京大・東北大・北大・九大・阪大・名大）はご存じかもしれませんが、全国各地にある**地方国立大学**は、地元以外であり知名度はありません。

しかし、全国の各国立大学が、その地域に根差した教育・研究・社会貢献を行うとともに、日本だけではなく**世界から注目を集める個性的な研究**を行っています。

知名度で言えば、「地方国立大学」よりも都会の「大手私立大学」の方が有名かもしれません。また、名前を聞いたことのある「有名私立大学」の方が安心感があるかもしれません。

しかし、これまでご存じではない「**地方国立大学**」を認知いただいた上で、ぜひお子さまの進学先を検討いただきたいと思います。



大学進学



1 金銭面



国立大学＝「学費が安い」という点は
ご存じだと思いますが、その他のコストを
想定されていますか？

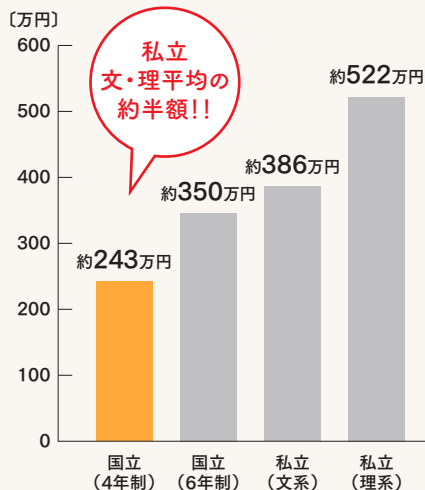


① 地方は物価が安い！

1 安価な学費

国立大学は、文理問わずどの大学・学部・学科でも、学費はほぼ同額。入学金28.2万円、年間授業料約53.6万円。4年間で約243万円、6年間で約350万円。一方、私立大学だと文系で約386万円、理系で約522万円、医歯系で2,245万円（文部科学省平成26年度調べ）になります。

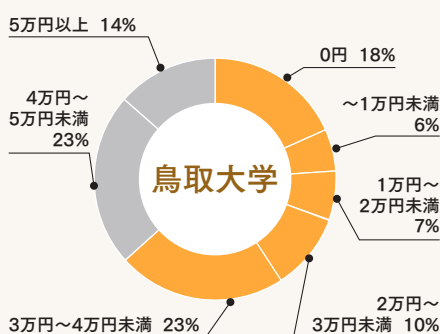
● 在学中にかかる学費の比較



2 安価な家賃相場

ひとり暮らしの学生が多いのが国立大学の特徴。生活費に占める最も大きなものは家賃ですが、地方で生活する場合、家賃相場は格安です。1カ月のワンルームアパート・マンションの家賃相場は都会だと6～10万円ですが、地方では3～5万円程。例えば、鳥取大学・鳥取キャンパスの周辺では3.5万円が平均です。4年間の家賃代（3.5万円×12カ月×4年＝168万円）は、都会（10万円×12カ月×4年＝480万円）に比べ、約310万円もの差となります。

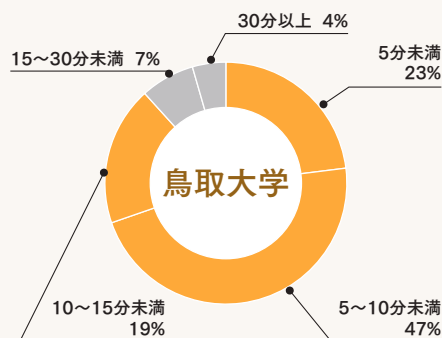
● 鳥取大学在学生の1カ月の住居費〔家賃、光熱水料費含む〕



3 お金も時間もかからない通学

国立大学のひとり暮らし学生のほとんどが大学周辺に住んでおり、家から大学までの通学コストの概念がなく、満員電車に乗るようなこともなく、「徒歩」か「自転車」で通学しています。実家から大学に通うメリットはもちろんありますが、「自宅→バスで最寄駅→私鉄→JR→私鉄」で通学するとなると、例えば往復の通学費3000円、おまけに往復に3～4時間もかかり、心身の疲労も含め、マイナス面が否めません。鳥取大学の学生でみると「大学まで10分」が7割、「15分」で9割を占めます。徒歩・自転車による通学が約9割にのぼります。

● 鳥取大学在学生の通学時間〔片道〕



2 生活面



「実家から通える大学」を選択することと、「ひとり暮らし」をさせることのメリット・デメリットを、検討していますか？

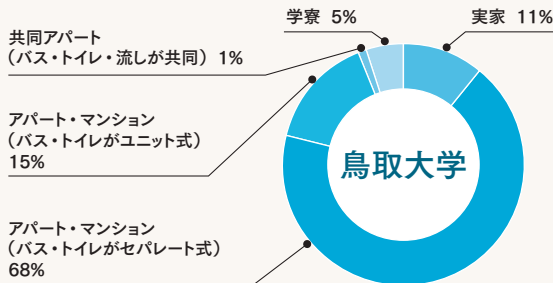


① 大学進学を機に、親離れ・子離れを！

1 自立心

「ひとり暮らし」では、衣・食・住すべてを自分で対処しなくてはなりません。「自炊」「洗物」「買物」「洗濯」「掃除」「ゴミ捨て」「起床」等も全て自分でこなす必要があります。ひとり暮らしは最初が大変ですが、その後、自立して行動していく力を身につけることができる、「成長の機会」です。

●鳥取大学在学生の住居の種別は？



2 相互扶助

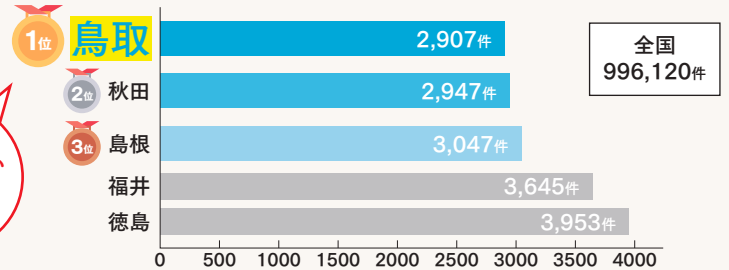
「病気やケガで倒れたら、どうしたら良いのか？」そんな時こそ、相互扶助をしてくれる“友人”がきわめて重要になります。「ひとり暮らし」だからこそ、近所に住む“友だち”との関係が必要であり、普段からの“人つきあい”の重要性を学ぶことができます。

3 安全なひとり暮らし

「子どもが心配」なのは“親の常”ですが、都会のような危険性や犯罪が、地方で起こる確率は非常に低く、犯罪の発件数は圧倒的に地方が少ないです。「都会のひとり暮らし」は危険が沢山ありますが、「地方でひとり暮らし」をすることは決して危険ではありません。

●都道府県別 治安がいいランキングトップ5 (刑法犯認知件数)

出典：警察庁 犯罪統計資料 (平成28年1～12月分【確定値】)



治安のいい鳥取県!!

3 学生の特性



「朱に交われれば赤くなる」。
4年間または6年間生活をともにする
周囲の学生は、大きな影響を与えます。



① 多様な学生との交わりで大きく成長！

1 全国から集まる

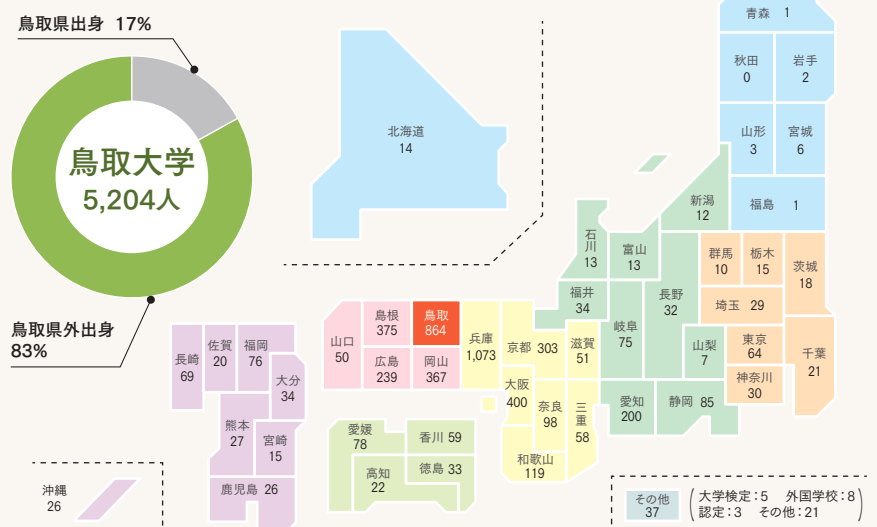
地方国立大学には、全国各地から学生が集まっています。特定の地域からしか学生が集まらない大学では、多様な価値観や文化を受容する能力は養われません。ダイバーシティな社会の中で、多様性を受け止められる能力がますます重要になってきています。全国の国立大学の中でも特に他県率の高い鳥取大学では、在籍学生のうち83%が県外出身者で、北海道から沖縄県まで出身地は多様です。

2 勉強にまじめ

国立大学の学生は、受験で5教科7科目をきっちりと学んできた学生が多くいます。地方国立大学であれば、アルバイト三昧の学生は少ないため、学ぶ意識を持ち続け、周囲のまじめな学生とともに勉学に励むことができます。

●鳥取大学 (学部学生) の都道府県別在籍者数

※2017年4月1日現在 ※聴講生・科目等履修生等を除く
※出身高校の所在地を基に作成 ※編入等で出身高校が不明の場合はその他へ計上



4 教育面



高額な学費を支払う最大の目的は？ 高い教育成果が期待できる教育環境は？



！ 本当の“少人数”で学べる環境が有！

1 教員1人あたりの学生数

国立大学と私立大学の大きな違いに、“学生数”があります。「教員1人あたりの学生数」(平成28年度学校基本調査)でみると、国立大学平均が9.4人に対し、私立大学平均は19.9人。大規模な私立大学に至っては30~50人の大学もあります。



2 「少人数」の解釈の違い

国立大学において少人数授業は当たり前で、特に「研究室・ゼミへの配属」において私立大学と大きく異なります。少なければ1名、多くても5~6名が1研究室・ゼミへの配属人数です。一方、私立大学でみると、少人数教育で有名な“国際基督教大学(ICU)”であっても、「教員1人に対して学生は18人。学生一人ひとりと向き合う少人数教育」とうたっています。つまり、「少人数」という言葉の意味の解釈が国立大学と私立大学では、全く違うのです。

3 講義室(教室)の規模

人数が多いことのメリットはもちろんありますが、“教育の場”においては少人数に越したことはありません。国立大学では、大規模講義室が少なく、大人数での授業数が少ないのに対して、私立大学では、200~1,000名近くが入る教室が数多く存在しています。大規模な講義室での講義は、昔ながらの一方通行の授業形式にならざるを得ず、能動的な学修(アクティブ・ラーニング)には不向きです。

5 研究面



大学の醍醐味は「教育」を受けるだけでなく、「研究」ができること。

「研究」を行うことができる大学は？



！ 研究できる環境が有！

1 科学研究費助成事業の採択

研究者による科学研究費助成事業の採択者の所属(平成28年度)をみると、国立大学が64.1%に対し、私立大学は18.3%です。教員数をみると国立大学が6.4万人、私立大学が10.6万人(平成28年度学校基本調査)なので、教員数は私立大学の方が多くにも関わらず、科学研究費助成事業の採択は国立大学の方が圧倒的に多いことがわかります。

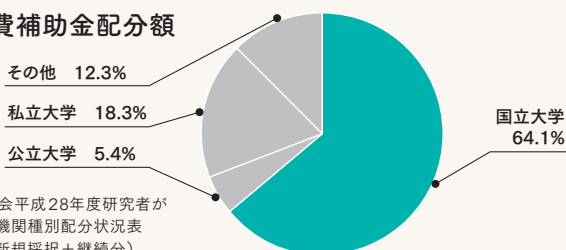
2 大学院の在籍学生数

学部(学士課程)を卒業した後、大学院(修士課程)へ進学し研究活動を続けることもできます。大学院の在籍学生数(平成28年度学校基本調査)をみると、国立大学は9.4万人に対し、私立大学は5.5万人となっており、国立大学の大学院在籍者が多いことがわかります。

3 施設・設備(特に理系)

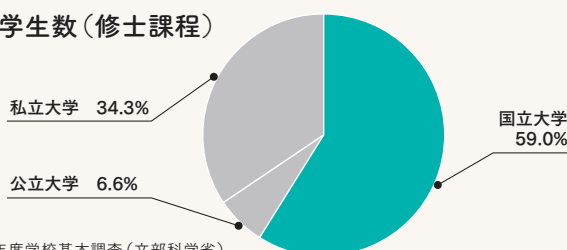
国立大学には、人文・社会科学系よりも、自然科学系の工学・理学・農学・医学といった“理系”の学部系統が多くあります。それは研究施設・設備に莫大な予算が必要なため、私学ではまかなえず国立大学が担っている側面があります。つまり“理系”の大学進学を考えれば、圧倒的に国立大学の方が施設・設備面で充実しています。

● 科学研究費補助金配分額



出典：日本学術振興会平成28年度研究者が所属する研究機関種別配分状況表(平成28年度新規採択+継続分)

● 大学院学生数(修士課程)



出典：平成28年度学校基本調査(文部科学省)

6 就職面



ひとりひとりの学生を見てくれる大学はどこでしょうか？



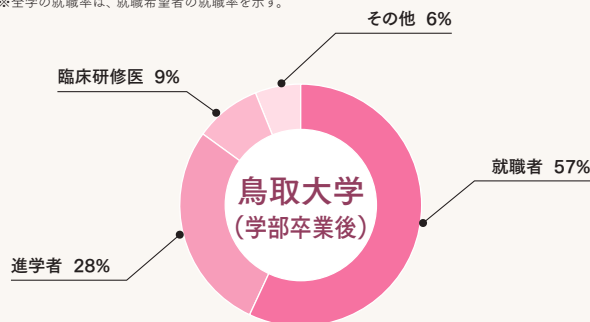
❗ 正しい情報を知りましょう！

1 就職率のトリック

「就職率」はあくまで「内定者／就職希望者」の数字です。そもそも「就職率」はあくまで集団の数字に過ぎません。「就職率95%」を例にして考えてみましょう。A国立大学（卒業生1,000名）だと「50名」が未決定ですが、B私立大学（卒業生5,000名）でみれば「250名」もの学生が未決定であり、母数の違いで大きな差異に繋がります。

● 鳥取大学の就職率

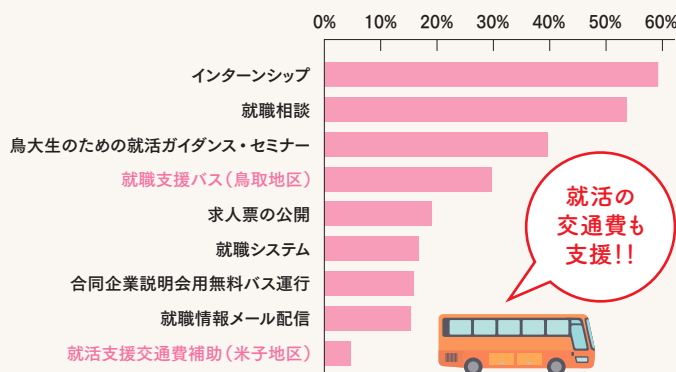
※全学の就職率は、就職希望者の就職率を示す。



2 「キャリア教育と就職支援」は当たり前

私立大学では「キャリア教育と就職支援の充実」をうたう大学がありますが、国立大学もこの10年間で、専門教職員が配置されるようになり、学生数が少ないことで丁寧な指導が行われています。

● 鳥取大学の就職に関連するサービス、制度等について、知っているものは？



7 課外活動



授業ではない課外活動を人間形成の場として捉えていますか？

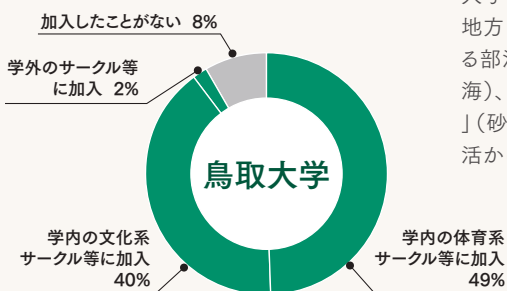


❗ 素直に育つ環境が有！

1 部活動・サークル活動

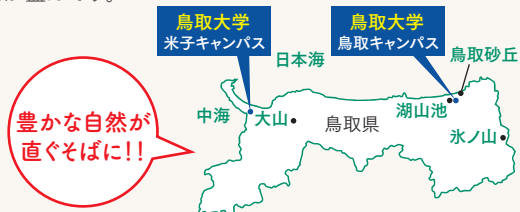
大学には、部活動・サークル活動を通じて、先輩・後輩、同期生と親睦を深める機会があります。国立・私立に関わらず、大学によって参加状況は異なるようですが、多くの地方国立大学で「部活動・サークル活動への加入している」者が多い傾向です。鳥取大学でみると、「部活動・サークル活動に参加したことがない」という者はわずか8%のみで、9割以上の学生が参加しています。

● 鳥取大学在学生のサークル等への加入状況



2 自然とのかかわり

地方国立大学の場合、大学近隣に自然環境が豊富であり、山・森林・海・川・湖へすぐにアクセスできる、恵まれた大学もあります。都会の大学では味わえない、日常の中で自然とかわることができることも、地方に位置する大学の良さです。鳥取大学には例えば、自然とかわる部活動として、「サーフィン部」「ライフセービング部」（自転車10分で海）、「漕艇部」「ヨット部」（キャンパス横に池・湖）、「ハングライダー部」（砂丘で飛行）、「競技スキー部」（車30分でスキー場）等、地の利を活かした活動が盛んです。



8 入試



入試を何で判断していますか？



❗ 偏差値以外の尺度も大事！

1 偏差値のトリック

“国立大学は偏差値が高い”と思われる方もいるかもしれませんが、「偏差値」は予備校等が設定しているもので大学が定めているものではありませんが、基本的には「大学が位置する“周辺地域の人口”に比例」しています。そのため、国立大学全ての偏差値が高いわけではありません。人口の少ない地方に位置する大学ほど、低めの偏差値となりますが、教育研究のレベルが低いことを示すものではありません。

2 倍率のトリック

“国立大学の倍率は高い”と思われる方もいるかもしれませんが、新聞等に掲載される倍率は、“志願倍率”であり、本当の競争倍率を示していません。実際の受験者数に対する合格者数で表したのが“受験倍率”であり、この数値を計算し確認すべきです。医・歯・薬・獣医学科を除けば、国立大学の多くの学部・学科で、「受験倍率」は2倍前後です。

3 認知度の低いAO・推薦入試

「AO入試・推薦入試」＝「私立大学」と思っている方もいるかもしれませんが、国立大学でも「AO入試」「推薦入試」を導入している大学が多くあります。センター試験を課さない入試を実施する大学もあり、「教科学力」だけではなく、“思考力・判断力・表現力”や“主体的な態度”を含め多面的・総合的に評価しようという入試が、国立大学でも行われています。“学んでみたい学問”から、国立大学を選ぶAO入学者・推薦入学者も増えてきています。

大学の偏差値



その大学に合格した学生の偏差値

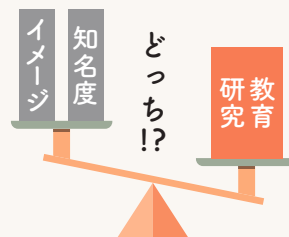


第1志望者の受験生が多いと高くなる
(都市部ほど高い傾向)

9 大学進学の意味



なぜ大学へ進学させたいですか？



❗ 大学進学の意味を再考ください！

1 学歴によって生じる賃金差

実社会において、学歴による賃金差は現実的に生じています。厚生労働省の平成28年賃金構造基本統計調査結果をみると、学歴別に大きな差が生じていることが分かります。

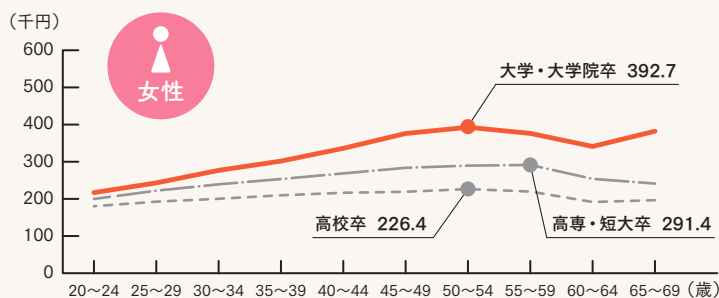
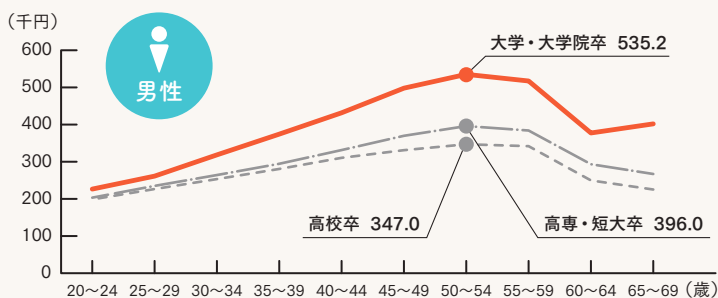
2 大学進学＝「大きな買物」

大学進学には莫大な費用がかかるにも関わらず、大学を中身(教育研究)ではなく、イメージや知名度で選んでしまうことは大きな損失です。見栄えではなく、中身で選択してほしいと切に願います。

3 自立して学ぶことこそが、社会が求めていること

“自ら問いを立て、自ら考え自ら行動できる”ようになることこそが、大学に進学して学ぶことの最も大きな意義です。その環境・機会が、地方の国立大学には存分にあります。

● 学歴、性、年齢階級別賃金 出典：平成28年賃金構造基本統計調査結果の概況(厚生労働省)



鳥取大学の学生生活に関する図表、データ等については、「とっとりキャンパスライフ2016-平成28年度鳥取大学学生生活実態調査報告書」から引用しています。

資料に関するお問合せ

鳥取大学入学センター

〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4-101
TEL 0857-31-5554 E-mail info-ac@ml.adm.tottori-u.ac.jp